

# 鏡川流域パートナーシップだより No.228 R7.7.24



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり（鏡川流域パートナーシップ）の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

## 土佐山学舎 4 年生が鏡川で釣りに挑戦！

土佐山学舎 4 年生は、鏡川などの身近な自然環境に触れ、地域の自然や文化を学んでいます。7 月 22 日（火）には、環境学習の一環として、鏡川源流憩いの広場で釣りに挑戦しました！



📖 釣りを始める前に、釣りに必要な餌となる水生生物を探しました。児童の皆さんは、トビケラの幼虫などをたくさん見つけていました！



📖 児童の皆さんは、鏡川や釣りに詳しい地域の方から、エサの付け方や魚が釣れそうな場所などを教わりました！蜂の子を餌にすると魚がよく釣れると聞き、児童の皆さんは驚いていました ^^

今回の体験で使用した釣竿は、笹竹を使って事前に児童の皆さんが手作りしたものです！身長よりも長い釣竿は扱いにくそうに見えましたが、徐々に使いこなせるようになっていました ^^ 📖



児童の皆さんは、鏡川をはじめとする土佐山の豊かな自然の中で、鏡川に生息する水生生物の多様性や地域文化に触れる実体験の場となりました。5 月 30 日の環境問題に関する授業、7 月 11 日の鏡川の水生生物調査・観察、そして、今回の釣り体験を通して、自然環境や生きものを大切にしたい気持ちが強まったと思います。

今後も、身近な環境問題に対して、自分たちができることを考え続けてほしいです。そして、鏡川流域関係人口として、一緒にきれいな鏡川を守っていきましょう！



📖 当日は天候に恵まれ、土佐山の美しい景色を眺めながら、釣りを楽しむことができました！



📖 最初は触れなかった餌のミミズを自分で針に付けられるようになった児童もいました！ また、釣りのコツをつかんだ児童は、短時間に何匹も魚を釣り上げていました♪

当日は、鏡川の水量が少し多いことで、流れも速くなっており、釣りをするには難しい状況でしたが、児童の皆さんは、地域の方や先生方のアドバイスを聞き、全員で協力しながら約 1 時間で **15 匹**の魚を釣り上げました！



📖 今回は、アマゴ、ウグイ、オイカワ、カワムツ、ヨシノボリといった多くの種類の魚が釣れました。

児童の皆さんは、釣った魚を観察し、種類によって異なる特徴を見つけていました！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつながる山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android